

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 7-1-1	事務事業名 どんど焼き実行委員会補助金	所管部課 生活文化スポーツ部文化振興課
----------------	------------------------	------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	<p>どんど焼き実行委員会に対し、どんど焼きの実施に要する経費の一部を補助することにより、日本の正月の伝統行事であるどんど焼を伝統文化として継承するとともに、地域におけるふるさと文化の育成や青少年の健全育成を推進する。</p> <p>また、事業実施内容を検討する実行委員会において、地域の中学生から大人までの異年齢が協力し連携することにより、地域の中の繋がりがや西東京市に対する愛着を醸成する。</p>	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する		
	<p>市は、市民が組織する実行委員会に対し、どんど焼き実施のために必要な会場設営費、運営費及び広報費について補助金を支出する。</p> <p>どんど焼きは、3会場(保谷第二小学校・明保中学校・上向台小学校)で行われ、実行委員会が企画、調整、準備、当日運営、事業終了後処理等を行っており、市は補助金の交付と市報、HPおよびポスター掲示等の広報を行う。</p> <p>実行委員会では、補助金だけでは不足する事業費を、商店街や参加市民および神社等から寄付金を集めまかなっており、事業費に占める寄付金額割合は約49%となっている。</p> <p>実行委員会は、消防署や消防団等とも連携しており、防災に対する意識も高い。また、各学校とも連携しており、校長からもどんど焼き事業の教育的意義について挨拶をいただいている。</p> <p>(予算事業名 02.01.11.01生活文化事務費(どんど焼き実行委員会補助金))</p>		
事業開始時期	平成13 年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(A)		285	285	285	285
財源	千円				
国庫支出金・都支出金					
地方債					
その他 ()					
一般財源		285	285	285	285
所要人員(B)	人	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	245	231	238	246
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	530	516	523	531
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (実行委員会開催数)	千円	132	129	131	

活動等指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
①実行委員会開催	実績値 回	4	4	4	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<p>市の役割は、実行委員募集、実行委員会開催、広報、事業開催見守り、市長・教育長挨拶調整、補助金の交付事務等であり、実施内容等の主要な部分は、実行委員会において調整している。</p> <p>また、活動指標である実行委員会の開催については、実行委員会と開催スケジュールや議事内容を協議し、効率的な運営を行っている。</p>					
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
一次 参加者数	目標値 人	3,000	3,500	4,000	4,500
	実績値 人	3,123	4,070	4,300	
二次 HPアクセス数	目標値 回	2,000	2,000	2,000	3,000
	実績値 回	2,353	1,812	2,997	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
<p>平成25年度は、地域コミュニティ誌で取り上げられる等広報の地域内での連携が進むとともに、中学生ボランティアによる事前準備の様様をHPでお知らせすることで、市民の関心も高まり、HPアクセス数も平成23年度比1.27倍となった。それを反映し、参加者も1.38倍と増加し、市民にどんど焼き事業が浸透してきている。</p>					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	参加した市民が、「どんど焼き」に感動し、その様子を写真撮影し、実行委員会に届けられたとの報告を受けている。また、開催前の時期には、市へ参加方法についての問い合わせもあり、市民の関心の高さを感ずる。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 都内26市中12市においてどんど焼きが行われており、そのうち9市については実施組織に対し、補助金等を支出している。ただし、どんど焼き実施に対する補助金等の交付の方法については、コミュニティ組織に対する補助金の一部を充当するなど各市により、補助の方法は異なっている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 保谷小校区青少年育成会と西東京市青少年育成会「にしはら」が校区を対象としてどんど焼きを実施しているが、全市民を対象とした事業ではない。

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	改善・見直し	<p>平成19年度に行われた事務事業評価を受け、どんど焼事業に対する職員の関わりを見直し、実行委員会開催時間の効率化と補助金交付に関する必要最低限の事務、当日立会の短縮等に努めた。</p> <p>一方、平成24年3月に策定した西東京市文化芸術振興計画を推進する中で、当事業は基本方針3施策1-2「文化財の活用」及び基本方針4施策1-1「文化ボランティアの育成」と2-1「地域の人材との連携による指導・支援の機会の創出」等複数の施策を推進することのできる事業であり、継続実施することで計画に沿った文化芸術振興を推進することにもつながる事業である。</p> <p>10数年かけて、ここまで育った行事は、今後も継続することで、西東京市の伝統文化として根付き、子供から大人までが関わる行事として地域の連帯感を生み出すことが期待でき、その結果としても参加者の増加やHPアクセス数の増加という実績があがっている。</p> <p>この事業に対する補助金の役割は、3会場とも学校の校庭を使用しているため、主に校庭を傷めない配慮をしたやぐら設営や燃やした後の灰の撤去、校庭の整地のために補助金が支出されており、会場確保に欠かせない。</p> <p>この事業は、3年前の東日本大震災以降単なる地域行事にとどまらず、市民のコミュニティの醸成に、有効なイベントという意義も生まれ、防災関係者の連携・展示、非常時を想定した炊き出し体験も行われている。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	2		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	1	抜本的見直し	<p>平成19年度に「抜本的見直し」の評価を受けたにもかかわらず、事業の見直し策や、評価向上のための工夫が見られない。</p> <p>西東京市内においても一部の地域においてのみ行われている行事であり、市の伝統行事として支援していく必要性が乏しい。</p> <p>一次評価においては、「継続実施することで計画に沿った文化芸術振興を推進することにもつながっている。」とあるものの、事業を継続することの効果が見えずらく、財政状況に鑑みると、本事業に財政投入することの必要性をより検証する必要がある。</p> <p>また、会場数や、開催場所の検証を行うなど、事業規模の見直しを検討する必要がある。</p>
	事業の必要性	1		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方	1		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
廃止	<p>どんど焼の事業は、参加者も多く、また、開催地となっている学校付近においては、地域コミュニティを活性化するための1つの行事として定着しているなど、地域の文化を継承しているものと考えられる。</p> <p>しかし、評価対象であるどんど焼実行委員会補助金については、実行委員会に対する市の関与については見直されてきたものの、補助制度そのものは見直されていない。そのため、伝統行事の継承という目的があるにもかかわらず、どんど焼以外の市内伝統事業を対象としていないこと、また、補助額について、補助対象経費に対する補助率を定めず、予算の範囲内と定めるのみとなっていることなど、制度として不十分なままとされている。</p> <p>運営面では、補助対象経費の多くを占める振る舞の品を参加者負担とするなど、実行委員会の自助努力を促すよう指導・支援を行われない。</p> <p>以上のことから、本補助事業については、廃止すべきと考える。</p>

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
廃止	<p>どんど焼の行事については、毎年の参加者も多く、開催場所となっている学校付近のコミュニティの活性化にもつながる行事となっており、地域の文化を継承していると考えられる。</p> <p>しかし、補助金交付を行う本事業については、平成19年度評価において抜本的見直しとされたことを受け、実行委員会に対する市の関与等については見直しが行われたものの、補助制度そのものや、文化施策における地域行事に対するあり方という視点からの見直しが行われていない。</p> <p>今回の外部評価において、補助制度上の課題や、行事の運営上の課題を指摘されていることから、課題の整理や、自立に向けた運営への支援が必要である。</p> <p>また、外部評価でも指摘のあったとおり、どんど焼以外の伝統行事を対象としていないことについては、市内各地域における伝統行事を調査・研究する必要がある。</p> <p>今後は、施策本来の目的である伝統行事の継承について対応するため、各種伝統行事に対する振興策の構築にあわせ、本補助事業を廃止されたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>どんど焼実行委員会補助金における補助制度上の課題等の整理と、どんど焼実行委員会の自立へ向けた運営支援を行うとともに、各種伝統行事に対する振興策を検討・構築した上で、本補助金制度は廃止する。</p> <p>平成27年度:地域における伝統行事の調査及び振興策の検討</p> <p>平成28年度:本補助金制度廃止及び新たな地域における伝統行事振興策の実施</p>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------